

# 乙 貞

第18号 (通巻第4巻第4号)

1984年11月1日 発行

守山市立埋蔵文化財センター

☎ 0775-85-4397

〒 524-02

守山市服部町2250番地

## ※◎※◎※ 秋季特別展開催 ※◎※◎※

11月は文化財強調月間です。県内の各市町村では例年の如く文化財に関する催しが行なわれていますが、守山市では下記の通りに文化財特別展を行ないます。

### 記

- |       |                                           |
|-------|-------------------------------------------|
| 開催テーマ | 「身近な遺跡—古代における人々の交流」                       |
| 開催期間  | 昭和59年11月3日(祝)～25日(日)                      |
| 開催場所  | 守山市立埋蔵文化財センター                             |
| 開催行事  | ※ スライド会 11月3日・4日<br>テーマ 「守山を掘る」           |
|       | ※ 写真展 11月11日～23日<br>テーマ 「私が撮った文化財」        |
|       | ※ 土器づくり 11月11日・18日<br>テーマ 「弥生土器をつくろう」     |
|       | ※ 講演会 11月23日<br>テーマ 「古代彫刻の世界」<br>講師 井上一稔氏 |

今回は「身近な遺跡—古代における人々の交流」をテーマに、市内の遺跡の発掘調査の成果から、古代の交流について考えてみました。「交流」とは今日の文化を築き上げた原動力の一つであるとも言えます。遠近の交流を明らかにしていくことも、古代の守山を知る大きな手がかりになると考えられます。

※◎※◎※，発掘調査だより ※◎※◎※

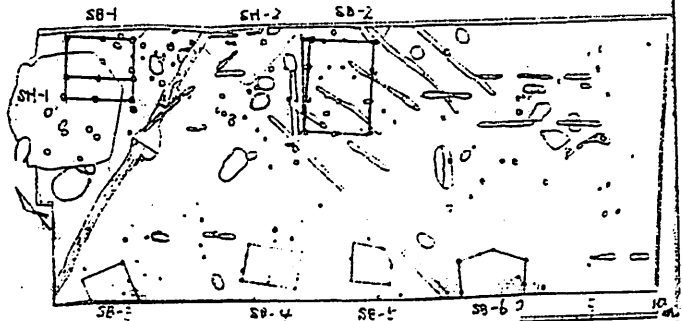
守山市では、現在4ヶ所で発掘調査を行なっていますが、その内、吉身西遺跡では調査が終了し、また金森東遺跡（守山高校の横）で新たに発掘調査が開始されましたので、各調査担当者から調査の概要をお知らせします。

※※※ 吉身西遺跡で玉づくりが！ ※※※

昭和59年4月から守山町、金森町地先で発掘調査を実施していた吉身西遺跡では、この程計画地をほぼ終了した。この過程で重要な遺構・遺物を把握することができました。

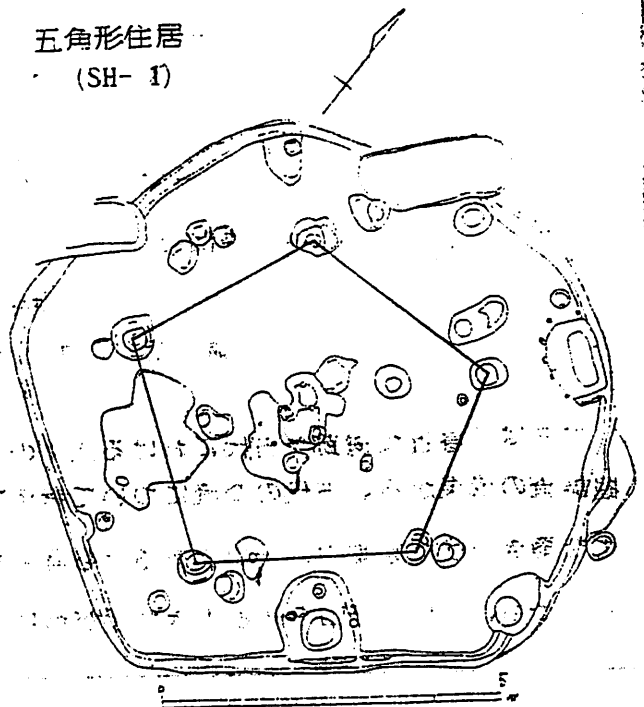
### 1. 第1調査区

吉身西遺跡の東南隅にあたり、遺跡の範囲をとらえることができた。成人病センターがほぼ中心であり、今回の調査地では弥生時代後期、古墳時代前期・後期、平安時代の数時期の遺構が検出された。まず、弥生時代では五角形住居/棟、方形住居（いずれも竪穴住居）が2棟確認できた。五角形住居は市内ではこれまでに2遺跡5例が判っており、本遺跡で6例目となった。右図のようにやや変形した五角形プランで支柱穴を5本、コーナーに対応する位置に設け、三辺に土壇を配置している ほぼ



第1調査区・平面図

### 五角形住居 (SH-1)



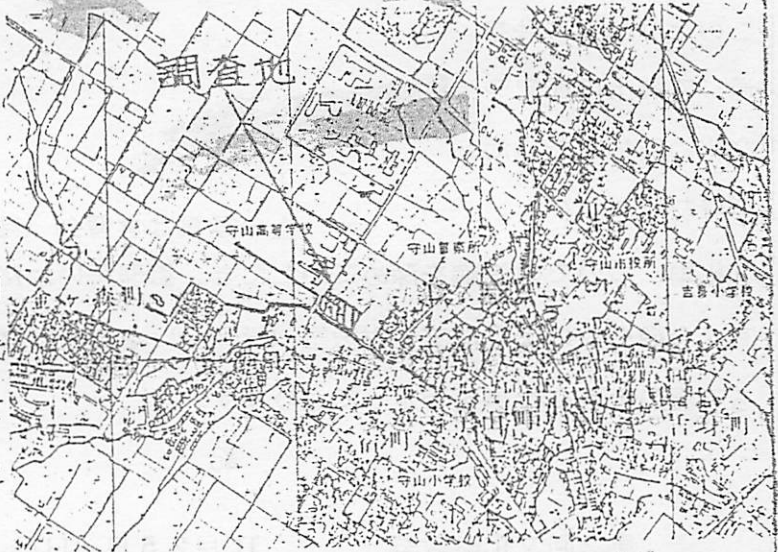
をみると現状では野洲川左岸に集中しており、特に注意をはらう必要がある重要な内容をもっていると言える。

詳細は別の報告書で分析したい。

※※※ 金森東遺跡の発掘調査開始! ※※※

守山高校の南側の発掘調査を10月22日から開始しました。調査地は下図のとおり守山町字七反ヶ町に所在し、面積約5400<sup>2</sup>をはかる水田地で、宅地造成工事に先立つものです。現時点では、一部の調査途上であり、多くの成果はあがっておりませんが、今後の調査の進行とともに貴重な考古資料を得られるものと思えます。

この遺跡は、金森町の集落の東側に位置することから金森東遺跡という名称で呼ばれていますが、その範囲は守山町に及び、弥生時代中期から平安時代にかけての集落、墓跡の性格が考えられています。



昭和58年5月から実施している調査でも、弥生時代中期の方形周溝墓、古墳跡、平安時代の掘立柱建物などがみつかっており、今回の調査地から検出が想定される古墳時代前期の竪穴住居を主とする集落遺構とを考え合わせたら、金森東遺跡の全容をある程度把握できるものと期待されています。

ここの調査は昭和60年3月末までの期間実施する予定ですが、発掘調査の成果をより早く報告するために「調査報」を発行する予定をしています。発行は月/回を目標にしています。新鮮な報告を御期待下さい。

※※ 調査担当者... 吉身西遺跡-山崎 金森東遺跡-岩崎

友の会だより

「友の会」では、去る9月29日に第1回の文化財教室（学習会）として、発掘調査現場の見学会を行ないました。見学対象の調査現場は、守山高校グラウンド

の西側の金森東遺跡と大林町の横江遺跡の2ヶ所で、会員の方々は熱心に調査担当者からの説明を聞かれています。



このような学習会を通じて郷土の歴史や文化に親しんでいただけたら、また、

上の写真は学習会（見学）の風景です。

文化財についての知識を深めていただき、御理解いただけたら、と思っております。今後もこのような文化財教室（学習会）を随時行なっていきます。今のところ下記のような行事を予定しております。

記

※ 第2回文化財教室 11月25日（日）

「栗東町の有形文化財めぐり」（金勝寺、旧和中散本舗＝大角家宅）

※ 第3回文化財教室 12月8日（土）

「穴太廃寺遺跡現地見学会」（大津市）

郷土の歴史や文化に興味、関心がある方は、「友の会」へ御入会を！

当埋蔵文化財センター、市役所・社会教育課で受付を行っております。

XXXXXXXX 後記 XXXXXXXX

今年は、文化の秋にふさわしく、秋晴れが続いていますが・・・びわ湖の湯水が気がかりです・・・

—Y記—